

事務事業名	各種予防接種事業		事業期間	～	年度	係内番号	03
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係		連絡先	330	

政策番号	01	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	低
			基本計画①	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業		
			基本計画②	01	地域福祉計画	0000	複数の柱にまたがる事業		
			実行計画	05	健康づくり計画（一般会計分）	0000	複数の柱にまたがる事業		

予算事業名	各種予防接種事業費	会計コード	01	款	04	項	01	目	02	事業	01
-------	-----------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要（簡潔にわかりやすく）  
 感染予防対策の充実。災害時等の感染拡大防止。対象年齢内の予防接種の実施、接種勧奨。予防接種法による定期予防接種（A類）：ヒブ、小児の肺炎球菌感染症、B型肝炎、四種混合、BCG、麻しん風しん（混合）、水痘、日本脳炎、二種混合（破傷風、ジフテリア）不活化ポリオ、ヒトパピローマウイルス感染症  
 予防接種法による定期予防接種（B類）：インフルエンザ（65歳以上）、定期高齢者肺炎球菌  
 行政措置接種：高齢者肺炎球菌助成

現状と背景（どうして）  
 感染症の特徴、感染しやすい時期等に基づいた予防接種です。

目的  
 受益者 予防接種法等に定められた各種予防接種対象者  
 対象（直接働きかける） 同上

留意点  
 （どんな状態にしたいか）  
 ワクチン接種によって感染症に対する免疫をつけ、発病を防ぐと共に社会への感染症の蔓延を防止する。

手段・方法（どうやって）  
 感染症の特徴・感染しやすい時期に各種予防接種を行う。周知方法は、広報ちの・ホームページ・個別通知・赤ちゃん訪問や乳幼児健診などによる。  
 接種方法は、集団接種・個別接種。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		1	各種予防接種の増（集団接種分）	集団接種延人数（二種混合・四種混合・BCG・日本脳炎1期）	人	予防接種者延べ数	4,500
		2	各種予防接種の増（個別接種分）	個別予防接種延人数（麻しん風しん第1期・第2期、日本脳炎2期、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、水痘、B型肝炎）	人	予防接種者延べ数	8,000
		3	各種予防接種の増（B類接種分）	B類予防接種延人数（インフルエンザ、定期高齢者肺炎球菌）	人	予防接種者延べ数	9,500
変更履歴							

成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	1	感染予防対策の充実	0歳～18歳まで予防接種率	%	(集団+個別延べ人数) ÷ 13,000 (目標値)	100
	2	感染予防対策の充実	高齢者インフルエンザ予防接種率	%	予防接種者数 ÷ 接種対象者数	60
	変更履歴					

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	事業費等(a)	円	120,153,810	158,026,000			
財源内訳	国庫支出金	円		6,605,000			
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円					
	一般財源	円	120,153,810	151,421,000			
活動指標	集団接種延人数（二種混合・四種混合・BCG・日本脳炎1期）	目標	人	4,500	4,500		
		実績	人	3,995			
		達成率	%	88.78	-	-	-
	個別予防接種延人数（麻しん風しん第1期・第2期、日本脳炎2期、ヒブ感染症、小児の肺炎球菌感染症、ヒトパピローマウイルス感染症、水痘、B型肝炎）	目標	人	8,000	8,000		
		実績	人	6,797			
		達成率	%	84.96	-	-	-
	B類予防接種延人数（インフルエンザ、定期高齢者肺炎球菌）	目標	人	9,500	9,500		
		実績	人	10,248			
		達成率	%	107.87	-	-	-
成果指標	0歳～18歳まで予防接種率	目標	%	100	100		
		実績	%	85			
	高齢者インフルエンザ予防接種率	目標	%	60	60		
		実績	%	52			
達成率	%	86.83	-	-	-	-	
	備考						

事務事業名	各種予防接種事業	事業期間	~	年度	係内番号	03
担当部署	健康福祉部	健康づくり推進課	健康推進係	連絡先	330	

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
中 評 価	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化				
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)				
	翌年度方向性				
	成果				
	コスト				
	課長評価日				

項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
事後 評 価	(成果) 変果 動指 要標 因分 (析) 目標値を現実と合った数値に変更。集団接種は、学校での実施なども含み、多くの接種ができていますが、日本脳炎の2期(高校3年)は、接種率が低い。高齢者については、目標は達成できていないが、多くの人が接種できている。				
価 C H E C K	成果 保育園への手紙や、未受診通知、乳幼児健診での確認と勧奨などで、接種を忘れていた人への勧奨ができ、良かった。				
	課題 高校生への受診勧奨を早めに行いたい。学校予防接種を安全に実施するための方向を検討。次年度開始の風しん抗体検査と予防接種の準備。四種混合が集団接種のため、接種が遅れる。				
改 善 の 方 向 性 (A C T)	成果 現状維持				
	コスト 現状維持				
策 び 容	改革 ・高校生への接種勧奨を年内に通知(秋頃)したい。(ワクチンの供給状態をみながら、) ・風しんの抗体検査の周知をし、蔓延しないよう、予防していきたい。 ・四種混合を集団接種から医療機関でできるようにしたい。毎年、百日咳の流行があり、中には命を落とす児もいる。ほとんどの自治体では、医療機関で実施しており、ヒブ、肺炎球菌と同時接種しているが、茅野市は月2回の集団接種にこななければならないため、接種が遅れる児が多い。百日咳で重症化しないよう、乳児の健康を守りたい。 ・学校での集団接種の安全性について引き続き検討していく。				

作成担当者	白鳥 晴美				
最終評価責任者	柳澤 澄子				
最終評価年月日	2019年5月17日				